

パンフ委員の主な仕事は能狂当日に配布するメインパンフとサブパンフの作成です。メインパンフは、番組と各演目の紹介・意気込みをまとめたもの。各会の活動報告も載せるため「残す資料」としても重要なものです。サブパンフは能楽を始めて観る人に向けての解説本です。毎年内容のブラッシュアップに努めてください。原稿は依頼してから 1 ヶ月は来ないものと思って早め早めに動くようにしましょう。本資料では先にコロナ前まで行っていた通常業務の説明、後半にコロナ禍で行った特殊業務の説明を行います。

仕事(コロナ前)

メインパンフ・サブパンフの作成

番組表の作成

広告の管理

メインパンフ・サブパンフの作成

<仕事の流れ>

- 1.内容の決定 (6月)
- 2.原稿依頼 (7月末)
- 3.原稿回収 (8月から9月)
- 4.編集 (10月)
- 5.メインパンフ入稿 (10月末)
- 6.メインパンフ配布 (11月初め)
- 7.サブパンフ製本 (11月初め)

1.内容の決定

まず初めに過去のパンフレットを各会が保管しているので、それに目を通し、どんな内容だったかを把握してください。予算や会の規模に合わせてメインパンフやサブパンフを作成するかどうかをまず決めます。アンケートなどとっても良いでしょう。メインパンフの意気込みとサブパンフの詞章は、(良いことではありませんが) 能楽を始めて観る人にとっては退屈しのぎにとっても良いそうなので、予算が付く限り必ず作成しましょう。またサブパンフの部員紹介はこういう人たちが能楽に打ち込んでいるのかを伝える能楽部そのもののアピールの場になるように配慮してください。英語サブパンフも好評です。

2.原稿の依頼(5月~6月)

- ・表紙の絵：部員の有志を募り、依頼する。白黒で縦 B5。表紙には資料の観点から、開催年月日と開催場所を必ず明記すること。表紙を作る段階で作成者に入れてもらう。
- ・挨拶文：能狂実行委員長に依頼。
- ・師匠原稿：各会の代表者に依頼をお願いする（狂言会網谷先生と宝生会辰巳先生）。特に宝生会は依頼できるタイミングが限られているらしく早めに依頼。
- ・演目解説原稿：能、舞囃子、狂言、素謡、連吟、仕舞、小舞の各シテに依頼。分量は後述。
- ・各会活動報告・集合写真：各会の代表者に依頼。集合写真は夏合宿などで撮ってもらう。白黒印刷になることに注意（特に能楽堂でなど暗い場所で撮影したものなど）。
- ・広告のデータ：継続広告→引継ぎ資料内のものを使用 新規広告→各会に依頼。
- ・部員紹介：サブパンフ用の部員紹介。分量・内容・文体をある程度あらかじめ指定する。
- ・詞章（能の歌詞全文のこと）：能・舞囃子・連吟・素謡について、各シテに依頼。能については語句解説もつけてもらっています。またフリガナを振るかどうかを依頼の時点で決めて、振ったデータをももらうようにしてください。
- ・狂言語句解説：令和元年から始めました。狂言会に依頼してください。
- ・英語版あらすじ：英語サブパンフを作る場合、能・舞囃子について英語版あらすじ。各シテに早めに依頼してください。狂言はこれまでありませんでしたが、作ると良いと思います。

<分量と依頼方法について>

【分量目安】 B5 冊子 1 ページ分が 1050 字です。

- ・挨拶文：1 ページ分。過去の挨拶文を踏襲する形で良い。
- ・師匠原稿：1 ページ分。
- ・能解説：2000 字程度。演者の希望に合わせましょう。形式はあらすじ+解説が一般的ですが過去には演者の鼎談などもありました。能会 2 会とも能を出す場合は分量に差が出ないように調整すること。
- ・舞囃子・狂言解説：1 ページ分。1000 字程度 1050 字以内として頼みましょう。
- ・仕舞・小舞・素謡・連吟解説：250 字以内（290 字程度で一段に入らなくなります。）
- ・活動報告：1 ページ分。過去のパンフを参照してもらい形式を揃える。
- ・詞章：大きく段落が抜け落ちている場合などあるので、自分でも原稿を確認すること。
- ・狂言語句解説：1 ページ分程度。
- ・英語版あらすじ：能 300~500 字程度、舞囃子 200 字程度。

【依頼方法】メーリングリストにて 7 月中に依頼。締め切り設定日から 1 ヶ月は集まり切るのにかかるので、まず 8 月末を締め切りにしましょう。何度かリマインドや、個人宛の催促をして確実に原稿を 9 月末までには回収しましょう。また師匠原稿の提出は例年かなり

遅くなります。各会の能狂委員を通じて何度も催促して下さい。

【諸注意】

- ・原稿依頼時に分量・レイアウトを指定しておくで編集作業が楽になります。
- ・形式は Word（もしくはそれに準ずるもの）で縦書き。演目名と所属会（GHK）、加えて学部・回生、氏名を明記してもらう。
- ・ファイル名は「仕舞 演目名 所属会 氏名」
- ・編集作業を楽にするため次のことを例年お願いしています。
 - ・数字はすべて漢数字
 - ・文章中の演目名の引用は『』
 - ・「・・・」は「…」で表記。

<広告について>

広告は継続広告と新規広告があります。継続広告の場合、データはこちらが保管していることになっていますが、コロナで2年以上広告の募集を行っていないため、データがあるかの確認と、各担当者に継続広告の内容が正しいかどうかの確認の依頼を必ず行ってください。広告はお金をいただいて、信頼の上で成り立つものです。掲載ミスはもちろん、印刷ミスやサイズミスなど決してないように十分に注意してください。広告の管理は会計の仕事なので、過不足ないか綿密に連絡を取り合うようにしましょう。

<番組表の作成>

番組は委員長が作成し、番組表をパンフ委員が作成（かつてはすべて委員長の仕事だったため負担が大きいうらお願いする）。番組表は Excel ファイルで作成。それを Word ファイルに組み込むか、スクショしたものを画像として張り付ける。後者の場合、文字が潰れることがあるので、実際に印刷してみるなど、十分に注意する。

番組表は先生方も一番見るページなので、体裁や作法が間違っていないか各会、特に上回生のチェックを念入りに通すこと。先生方の依頼状の時点で必要になるので、早めに作成する。特殊漢字についても各会に念押しして確認する。フォントによっては、表示できないものもあり（吉など）外字エディターなどを活用して対応する。

4.編集

- ・Word 上のメニューバー⇒ファイル⇒オプション⇒「表示」で「すべての編集記号を表示する」を選択。
- ・ページや段落の調整は「ページ区切り」を利用。
- ・上のメニューバー⇒レイアウト⇒「ページ設定」の右端下の矢印をクリック

【文字数と行数】

- ・文字方向：縦書き+三段
- ・文字数と行数の指定：行数だけを指定する
行数：行数 22 行送り 18pt
余白：上下 25.4mm 左右 19mm 印刷の向き：縦 用紙：B5
その他：ヘッダーとフッター
ヘッダー：15mm フッター：1mm

【フォント】

タイトル：HG 正楷書体-PRO 16pt 太字

本文：明朝体 10.5pt

【本文】過去に指摘されたことなど

- ・かっちは半角()
- ・ふりがなはルビかカッコ内かで統一、ルビの場合は行間を揃える。
- ・句読点のぶら下げ。上のメニューバー⇒ホーム⇒「段落」の右端下の矢印をクリック⇒「体裁」で“ぶら下げ”を選択⇒「インデントと行間隔」で配置を“両端揃え”に 両端揃えにしないと反映されません。
- ・!,?記号の後は半拍あける。
- ・「…」記号は2回繰り返し、「……」とする。
- ・かぎかっちは、演目名は『演目名』、そのほかは普通のかぎかっこ「」にする。

【広告】

- ・宝生会の「吉本正春建築空間工房」の広告は宝生に関する原稿に掲載してもらうようにとのこと。例年辰巳先生のコラムのページ。
- ・広告サイズは正しく調整しましょう。
- ・広告は Word に入れるとサイズが正しく表示されません。図ツールの「書式」で縦横のサイズを調整しましょう。図ツール⇒「サイズ」の右端下の矢印をクリック⇒「高さ」「幅」は固定にして数値を入力、倍率の「縦横比を固定する」のチェックは外す

〈参考〉広告サイズ、

3分の1：65×141mm

6分の1：65×70.5mm

9分の1：65×47mm

12分の1：65×35.25mm

4.(つづき) 仮印刷・部員チェック(9月末~10月中旬)

自分一人ではチェックが行き届かないことが多いので、10月中は1週間ごとを目安に原稿をメーリングリストに流し、部員にチェックをしてもらいます。BOXにも印刷したものを置き、文字の大きさや文字が潰れているところなどないか、細かくチェックを貰ってください

さい。最低限自分の演目の部分を見るように強くお願いしてください。最後に困るのは編集担当です。

5.メインパンフ入稿(10月中旬頃)

- ・入稿から1週間程度かかります。
- ・広告主様への配布・確認があるので、会の2週間前には完成版がBOXに到着するようにしてください。
- ・入稿前に、広告が全て入っているか、サイズに間違いがないか、しっかり確認してください。数ミリでもミスがあると、パンフレットを刷り直さなければいけなくなってしまいます。各部門や会計さんと一緒に何度も確認してください。

- ・印刷は、例年「すぐスール」に依頼。

⇒<http://www.sugusu-ru.com/?PHPSESSID=1cc7d6b79afa80469c1df7d818c1da28>

新規登録で1割引+学割(登録時に学校で登録する)でさらに1割引(計2割引き)になります。商品名が昨年と同じでも新規登録割引は使えました。

- ・お客様用+先生方用+広告主様用+部員用+BOX 保管用+引継ぎ用が必要です。

<参考>2019年度の原稿

Onedriveのフォルダー「能と狂言の会 パンフレット」がすぐスールへ送ったデータです。完成版は第五稿です。

※能狂のOnedrive

ID:noutokyougen@yahoo.co.jp パスワード:noh_kyo_kai

400部で注文しました。

サイズ：B5 タテ型 右トジ

表紙用紙：色上質紙 普通(厚紙) サーモン

表紙印刷色：すべてモノクロ

表紙加工：PP加工なし 背文字なし

本文用紙：上質紙 薄め 白色

本文印刷：両面印刷 モノクロ 32頁 カラー0頁

製本：無線トジ

注意事項に「縦書きですので、裏表紙(表4)が表紙になります。」と送りました。

経費 43488円

6.メインパンフ配布（11月初め）

- ・かなりの重量なので注意。完成品をBOXの倉庫へ。その際、引継ぎ用として数部取っておくことを忘れずに。
- ・各会担当者が広告主様のところへ行き、パンフと広告代とを引き換える。その際に広告に誤りがないかをしっかりと確認してもらう。
- ・本番当日に各楽屋にメインパンフと番組表を置くのを忘れずに。特に先生方の楽屋には人数分+ α の数を置く。また使用する能楽堂にも一部渡す。

サブ・英語版パンフについて

<編集>

- ・ページ数(表紙・裏表紙除く)は4の倍数に揃えましょう。
- ・サブパンフは例年の内容にとらわれず、常に能楽を分かりやすく楽しんでもらうという目標を持って内容をブラッシュアップしてください。特に英語版などはまだまだ改善点が多いと思います。
- ・サブパンフで例年使用しているイラストはフリー素材として提供されているものですが、出典を必ず最終ページに明記してください。連絡は不要です。また毎年当該ページを確認して、規約に変更ないかを確認してください。
- ・部数はサブ 350部、英語版 30部程度でよいと思います。
- ・お客様用+部員用+BOX保管用+引継ぎ用が必要です。
- ・サブパンフは表紙を上にして右側に、英語版パンフは左側に折り目が来ます。くれぐれも間違えないようにしてください。間違えるとページを裁断して正しい向きにホチキスで止める作業が必要となります。

7.製本(決起コンパ時)

- ・印刷は2018年度まで百万遍の大阪コピーさんで行っていましたが、2019年度からは狂言会が合同で活動している同志社大学の輪転機を利用しています。狂言会に頼めるならば、それを利用すると費用がかなり安く抑えられます。
- ・サブパンフの印刷と同時にアンケートなども同時に印刷しましょう。
- ・決起コンパ時に製本作業を手伝っていただくと各会の負担が平等になり、大勢で効率よく作業できます。そのためにも決起コンパに間に合うように締切日などを設定しましょう。
- ・ページ順に重ねて2つ折りにし、ホチキスで真ん中を2か所留めます。紙の中央を止められる特殊なホチキスが倉庫にあります。紛失している場合は作業が止まるので事前にチェックしておくこと。
- ・完成品は必ず中身を確認してください。2枚同じページが入っていることや、上下裏表逆になっていたりすることがあります。また指が乾燥して血がついてしまうことや、手汗で表紙が黒ずむことがあります。十分に注意してください。

2020 年度の仕事（コロナで中止）

- ・コロナ禍で広告を募集しないことが決まり、予算が確保できないことから、5月にアンケートを実施し、簡易パンフを作成することに。大きな変更点は、メインパンフとサブパンフの統合、製本業者に頼まない、師匠コラムなし、メンバー写真なし、部員紹介なし、能以外の詞章なし。
- ・原稿を8月末から依頼したが、9月末に中止が決まり、全て中断。

2021 年度の仕事（コロナ禍規模縮小開催）

- ・パンフレット作成をやめ、番組表のみ当日配布することに決定。
 - ・裏面に挨拶文とコロナ対策のお願い、それとアンケートのQRコードを記載しました。
 - ・A4 PPC カラー用紙 200 枚に両面印刷。それを3つ折りにして当日配布しました。
- <費用>同志社大学の輪転機を利用
紙 721 円 印刷 209 円 計 930 円
- ・解説本が欲しかったという意見が複数ありました。また詞章がないと能が初めての人には少し厳しいかと思います。

仕事は以上です。原稿の回収が一番大変だと思いますが、頑張りましょう。また過去の慣例に囚われず、時代にあった分かりやすい、意味のあるパンフレット作製を目指してください。分からない点などあれば過去の担当者にも聞いてください。

<過去のパンフ委員>

2016 年度 宝生会 加藤智也
2017 年度 金剛会 池上和岐
2018 年度 宝生会 多胡徹也
2019,2020,2021 年度 狂言会 中橋一萌

パンフレットは舞台が終わった後も最後までお客様の手元に残る能狂の顔です。恥ずかしくないものを作りましょう。